

平成25年2月7日
土木部まちづくり推進局 奈良公園室 奈良公園管理係
担当：中西室長、筒井室長補佐
0742-27-8677（内線 4306）

春日山原始林保全計画検討委員会の設置について

「奈良公園基本戦略」に基づき、春日山原始林とシカの共生を踏まえた『春日山原始林保全計画』を策定するため、春日山原始林保全計画検討委員会を設置しました。

1. 奈良公園基本戦略（平成24年2月策定）

※奈良公園地区整備検討委員会（平成23年8月設置）
〈設置目的〉基本戦略等の策定、維持・利活用の方策検討等

「奈良公園の価値」

- 奈良公園は国内外から年間1000万人以上の来訪者が訪れる日本を代表する観光地であり、市街地に隣接した公園である。
- 奈良公園には世界遺産である「古都奈良の文化財」をはじめとして、数多くの資源が存在している。
- 奈良公園の価値とは、奈良公園の自然資源、歴史・文化資源、公園資源、及び各資源が融合した独特の風致景観である。

奈良公園の「維持・管理」に関する課題

- ナンキンハゼ等の外来種の侵入による春日山原始林の荒廃
- 「奈良のシカ」による交通事故の増加や農作物の被害
- 奈良公園周辺における樹木の生長による眺望の阻害

「奈良公園基本戦略の基本方針」

県がトータルマネジメントを行い、奈良公園の価値を積極的に維持し、さらなる魅力の向上や魅力の創出に努める。

「基本方針実現に向けた3つの柱」

維持：
①価値を守る

利活用：
②魅力を活かす

取組体制：
③県が主体的に

基本方針の実現に向けた施策・事業【自然資源の保存】

◆ 天然記念物の維持・管理

1. 春日山原始林の再生

春日山原始林の荒廃から守り再生するため、春日山原始林保全計画を策定し、特別天然記念物である春日山原始林の再生に努める。

2. 奈良のシカの適切な保護・育成

奈良公園に生息する天然記念物の「奈良のシカ」を適切に保護・育成する。

◆ 植生の維持・管理

3. 奈良公園の植栽計画の策定

樹木の生長による眺望の阻害等に対応するため、奈良公園植栽計画を策定し、奈良公園周辺の植生を適切に維持・管理する。

■春日山原始林保全計画検討委員会

春日山原始林とシカとの共生、シカと人との共生を踏まえた春日山原始林保全計画を策定する。

○（仮称）芳山・花山地区保全・利活用部会

人工林の適正な管理・育成を図るほか、その利活用も行うことにより、人工林の保全、ひいては原始林の保全に資する。

■奈良公園

植栽計画 検討委員会

（平成24年
11月設置）

■奈良のシカ

保護管理計画 検討委員会 （仮称）

（平成25年度
設置予定）

2. 春日山原始林保全事業の概要

（1）事業の目的と背景

○春日山原始林は、都市公園である奈良公園の一部であるとともに、原生的状態を維持している貴重な原始林として特別天然記念物に指定され、また世界遺産「古都奈良の文化財」の一構成要素にもなっているという特色を有する。

○春日山原始林は①植物の種類が多様、②一団のまとまった規模がある、③在来の植生を構成する樹木等が自然分布状態で残存していること、④近代においても統一的な管理がなされてきたこと等により、日本有数の価値の高い森林であるといわれている。

○しかし、近年原始林の荒廃が研究者から指摘されるようになっており、県が平成23年度に行った予備調査（現地調査）、文献調査やヒアリングからも、シカの採食による樹木の生長阻害や気候の温暖化が主な要因となって、将来の原始林構成樹種が変化していく恐れのあることが明らかになった。他方で、「奈良のシカ」もまた天然記念物に指定されていることから、その対策には特段の配慮が必要である。更に、近年全国的に問題となっているナラ枯れ被害も原始林近くにまで及んできている。

○これらの状況を考慮して、春日山原始林の荒廃の現状を把握・分析し、保全手法を検討することを目的とし、春日山原始林とシカの共生、人とシカの共生を踏まえた春日山原始林保全計画を策定するものである。

(2) 事業の内容

○原始林保全計画の内容

- ・ 既往調査の整理…過年度調査の再整理・近畿圏における類似事例の収集
- ・ 現地調査…原始林大径木調査（継続）、後継樹更新状況把握調査
- ・ 原生林荒廃状況のまとめ
- ・ 保全計画（管理計画）の検討
- ・ 実証実験計画の検討
- ・ 執行体制の検討
- ・ 周辺樹林についての検討 等

(3) 計画策定後に予定している事業

- 環境整備工事 ※詳細は、今後の検討内容により決定（例：植生保護柵設置工）
- モニタリング調査
- 原始林の病虫害対策（ナラ枯れ等）

3. 第1回 検討委員会の開催について

- (1) 日時 平成25年2月8日（金） 13時00分から15時00分
- (2) 場所 奈良経済倶楽部 5階 大会議室（奈良市東向中町6番地）
- (3) 議事内容
 - ①春日山原始林の現況と課題整理について
 - ②春日山原始林の保全手法の検討について
- (4) 委員
 - 川瀬 浩 氏 （春日山原始林の自然を考える市民連絡会 代表）
 - 佐野 純子 氏 （奈良インターカルチャー 代表）
 - 田中 和博 氏 （京都府立大学大学院 教授）
 - 前迫 ゆり 氏 （大阪産業大学大学院 教授）
 - 松井 淳 氏 （奈良教育大学 教授）
 - 宮城 俊作 氏 （奈良女子大学 教授）
 - 山倉 拓夫 氏 （大阪市立大学 名誉教授）
 - 吉田 博宣 氏 （京都大学 名誉教授）
- (5) その他
 - ・ 傍聴の受付は、委員会開会30分前から開会5分前までとします。
 - ・ 傍聴の受付は先着順に行い、定員（10名）になり次第、終了します。
 - ・ なお、報道関係者が入る場合は、これとは別に傍聴席を設けます。
 - ・ テレビカメラ及び写真の撮影、録音、録画等は冒頭までとします。

※傍聴する際に守っていただく事項等について、詳しくは「春日山原始林保全計画検討委員会傍聴要領」をご覧ください。